

2015年度 第1回看護学部FD研修会

# FDマザーマップを用いた 看護系大学教員に求められる能力の 自己評価

看護学教育研究共同利用拠点  
千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター

看護学教育におけるマザーマップの開発と  
大学間共同活用の促進プロジェクト

平成27年4月16日(木) 内藤 智義

# FD: Faculty Development

- 専門分野を素材に成り立つ学問の府としての大学制度の理念・目的・役割を実現するために必要な「教授団の資質改善」または「教授団の資質開発」のこと ※

広義のFD; **研究、教育、社会的サービス、管理運営**の各側面の機能の開発を包括する組織体と教授職の両方の自己点検・評価

狭義のFD; 主に諸機能の中の教育に焦点

FDマザーマップは、広義のFDに焦点を当てたもの

# FDマザーマップを活用する目的

## FDマザーマップ

看護系大学教員に求められる、看護に特化した能力を行動レベルで示したマップ

### 「能力」の見取り図

- 看護系大学教員として求められる能力が、自分にどの程度備わっているか自己評価するため
- 今後の能力開発に向けた目標設定に活用するため  
→自分のFD活動を活性化できる

# FDマザーマップとは

開発元: 千葉大学大学院看護学研究科附属  
看護実践研究指導センター

- 看護職としての実務能力と看護を学問として教授する能力の向上をめざして開発されたもの
- 看護系大学間で共同活用できる、FDの企画・実施・評価を導くための体系的なFD活動の指針となるもの
- ゆくゆくは、各看護系大学でカスタマイズされて活用されることを狙いとして開発

# FDマザーマップ活用の利点

- 看護系大学教員に求められる能力の全体像が見える
- 各大学独自のマップの作製を支援できる
- 各大学独自の看護に特化したFD活動の推進に役立つ

# FDマザーマップ活用のしかた

## 組織として活用

- 大学のFDニーズ分析ツールとして活用
  - …自大学の教員が能力をどの程度有しているのか把握することで、FDニーズを分析できる
- 大学のFD活動の現状分析、評価ツールとして活用
  - …FD活動によって能力が育成されているのか、現状分析・評価することができる
- 大学の実情に即したFDマップ作製の雛型としての活用
- FDの計画的な企画・実施・評価のモデルとして活用
  - …教員の能力をFD企画等の達成目標として活用

※ 大学独自の看護に特化したFD活動の推進へ

# FDマザーマップ活用のしかた

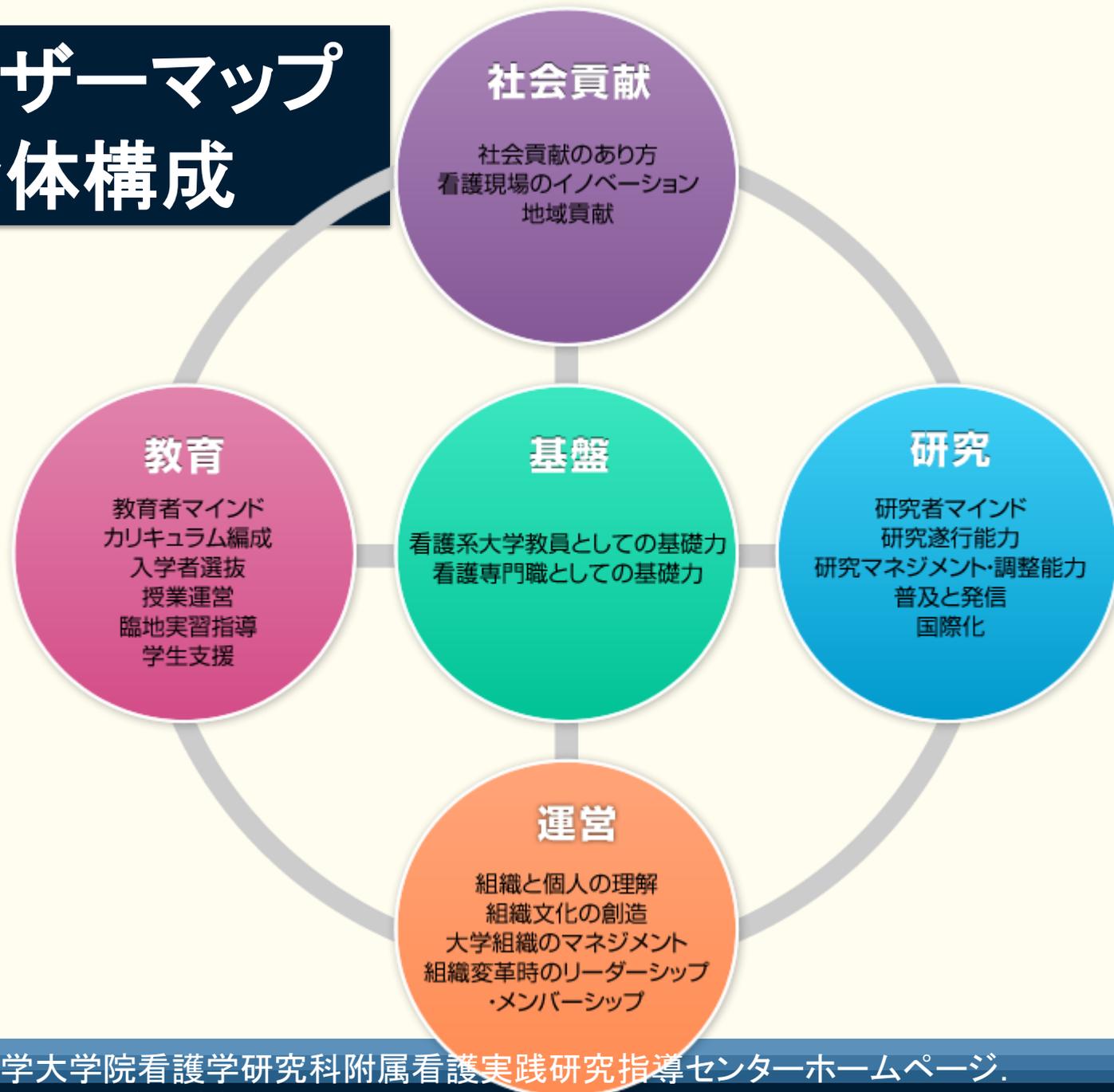
個人として活用

- 教員の自己評価・目標設定ツールとして活用
  - …自分にどの程度の能力が備わっているか、日頃の活動状況から振り返ることで、看護系大学教員としての能力の自己評価、今後の能力開発に向けた目標設定ツールとして活用できる

# マザーマップの具体的な使い方

- **みつける**・・・自分や自大学の教員のニーズはどこに？
- **分ける** ・・・自分や自大学の教員ができていること、できていないことは何？
- **測る・比べる**
  - ・・・自分や自大学の教員はどの程度達成できている？  
他者と比べてどの程度達成できているか？
- **選ぶ** ・・・今後の重点課題は？
- **気づく** ・・・自分がやりたいことは？こだわっていることは？

# FDマザーマップ 全体構成



※千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センターホームページ。

FDマザーマップ・支援データベース <http://fd.np-portal.com/what/#head2> (2015.3.26 閲覧)

# 区分と能力の要素

## 基盤

1. 看護系大学教員としての基礎力
2. 看護専門職としての基礎力

## 教育

1. 教育者マインド
2. カリキュラム編成
3. 入学者選抜
4. 授業運営
5. 臨地実習指導
6. 学生支援

## 研究

1. 研究者マインド
2. 研究遂行能力
3. 研究マネジメント
4. 研究発信の意義と理解
5. 国際化

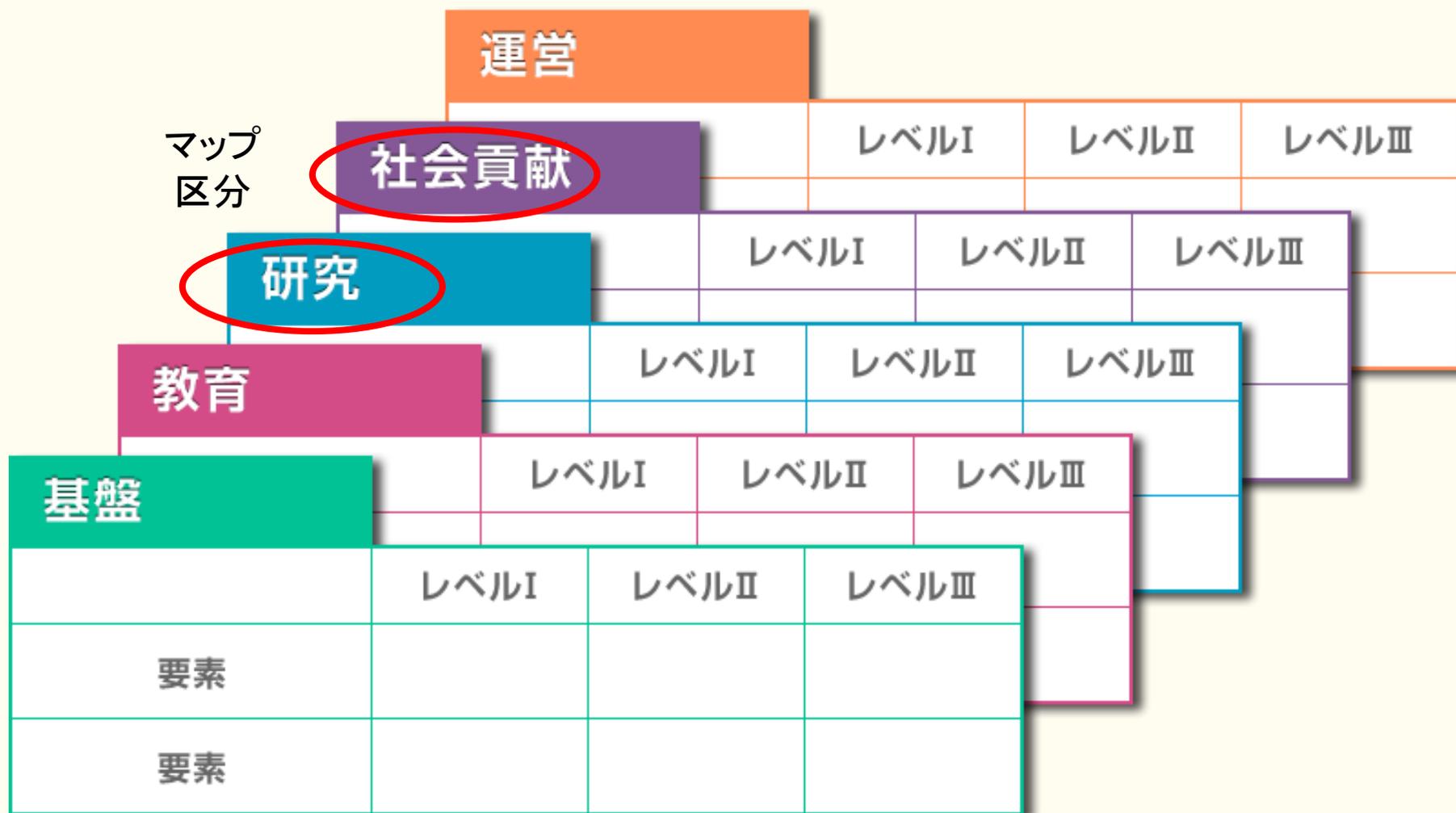
## 社会貢献

1. 社会貢献のあり方
2. 看護活動のイノベーション
3. 地域貢献

## 運営

1. 組織と個人の理解
2. 組織文化の創造
3. 課題解決に向けた組織マネジメント
4. 組織変革時のリーダーシップ・フォロワーシップ

# FDマザーマップの構成図



※千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センターホームページ。

FDマザーマップ・支援データベース <http://fd.np-portal.com/what/#head2> (2015.3.26 閲覧)

# 能力のレベルと評価基準

レベルⅠ：知る

できない / 何とか /  
普通に / 優れて

レベルⅡ：自立してできる

できない / 何とか /  
普通に / 優れて

レベルⅢ：  
支援・指導・拡大できる

できない / 何とか /  
普通に / 優れて

# 能力の要素とレベル

## マップ区分：教育

教育		レベルⅠ 知る		レベルⅡ 自立してできる		レベルⅢ 支援・指導、拡大できる				
要素		できない ○	何とか ○	普通に ●	優れて ○	できない ○	何とか ●	普通に ○	優れて ○	
1. 教育者マインド	教育1-1.1	○	○	●	○	教育1-1.2	○	○	●	○
	①教育が他者を支援するはたらきであることをふまえ、自身の教育者マインドの必要性を知る ②教育者マインドとして自大学で重視する内容を知る		①教育者マインドをもっている ②教育者マインドとして自大学で重視する内容を理解し、説明できる		①教育者マインドの醸成を支援できる ②教育者マインドとして自大学で重視する内容を検討できる					
2. カリキュラム編成	教育2-1.1	○	○	●	○	教育2-1.2	○	○	●	○
	①各大学のカリキュラムポリシーと国家試験受験資格の要件(保健師助産師看護師学校養成所指定規則)に基づき、カリキュラムが編成されることを知る ②生活背景や人生経験の異なる多様な学生に、生活支援を基盤とする看護学を教授する特徴や工夫の必要性を知る		①各大学のカリキュラムポリシーと国家試験受験資格の要件(保健師助産師看護師学校養成所指定規則)に基づいて、カリキュラムを編成できる ②生活背景や人生経験の異なる多様な学生に、生活支援を基盤とする看護学を教授する特徴や工夫の必要性を理解し、説明できる		①各大学のカリキュラムポリシーと国家試験受験資格の要件(保健師助産師看護師学校養成所指定規則)に基づいたカリキュラム編成について、他の教員に助言できる ②生活背景や人生経験の異なる多様な学生に、生活支援を基盤とする看護学を教授する特徴や工夫の必要性について、他の教員に助言できる					

# 能力を自己評価してみよう

## Step1 区分別に各レベルの平均点を算出

できない/ 0点

何とかできる/ 1点

普通にできる/ 2点

優れてできる/ 3点

マップ区分	基盤	教育	研究	運営	社会貢献
レベルⅠ	2.2	2.2	2.4	2.0	2.0
レベルⅡ	2.0	2.0	2.0	1.6	1.6
レベルⅢ	1.5	1.4	1.7	1.0	1.0

# 能力を自己評価してみよう

## Step2 平均点をグラフ化して区分間で比べる

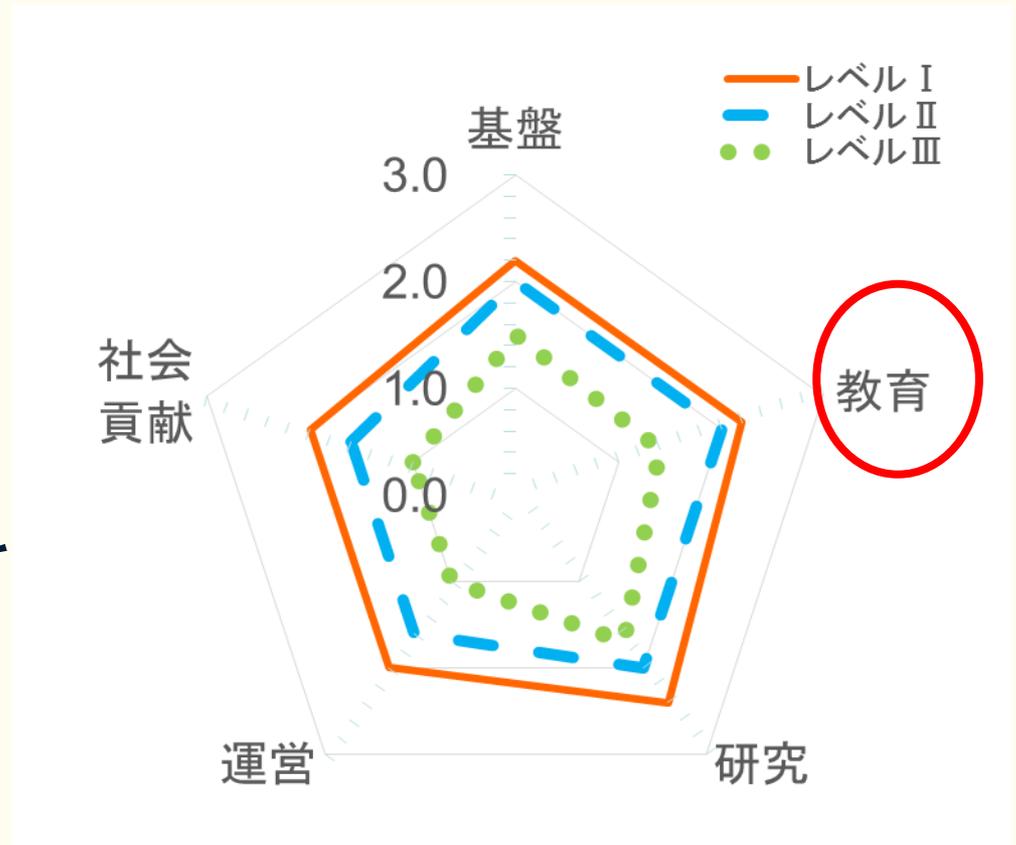
自分の達成度は？



どの区分の能力が弱い？



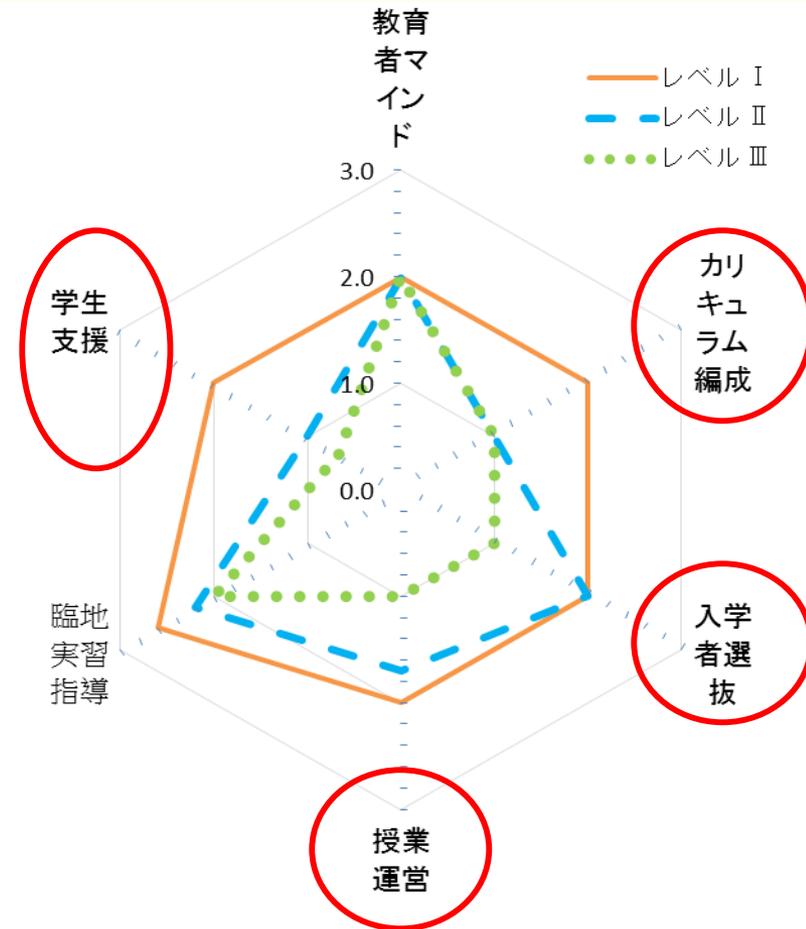
どの区分の能力の向上を  
目指そうか？



# 能力を自己評価してみよう

## Step3 ある区分の能力を要素別に比べる

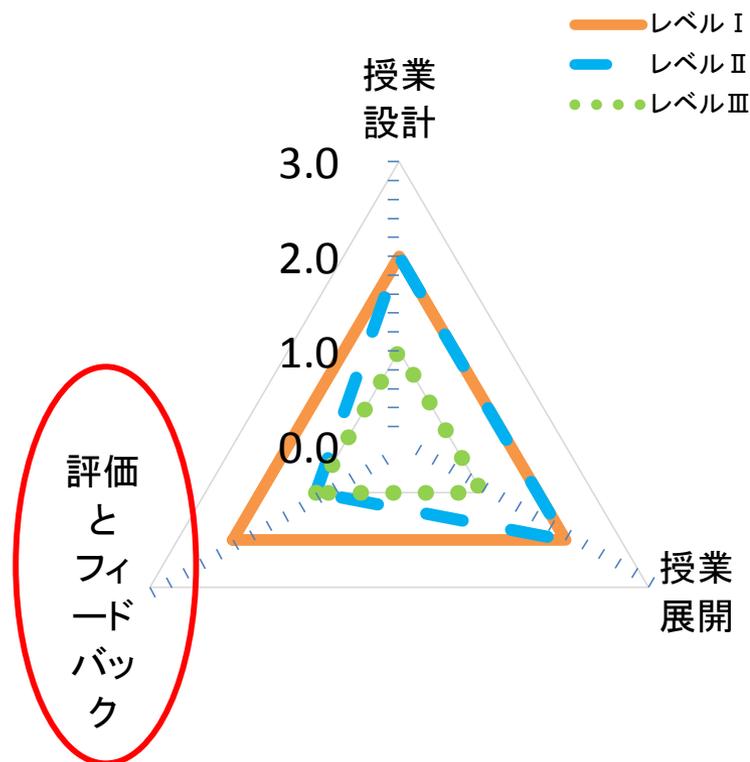
教育	教育者 マインド	カリキュ ラム編成	入学者 選抜	授業 運営	臨地 実習 指導	学生 支援
レベル Ⅰ	2.0	2.0	2.0	2.0	2.6	2
レベル Ⅱ	2.0	1.0	1.0	1.7	2	1
レベル Ⅲ	2.0	1.0	1.0	1.0	1.8	0.7



# 能力を自己評価してみよう

## Step4 ある要素の細目別に比べる

教育／ 授業 運営	授業設計	授業展開	評価と フィード バック
レベル Ⅰ	2.0	2.0	2.0
レベル Ⅱ	2.0	2.0	1.0
レベル Ⅲ	2.0	1.0	1.0



# 評価に基づき目標を設定してみよう

## Step5 特定の要素の内容を吟味し目標設定へ

### ● 到達目標

細目「評価とフィードバック」の能力レベルを2に上げるために…

- ① ~~担当科目の目標に基づく学生の到達度を評価できる~~
- ② ~~ディプロマポリシーをふまえて、各担当科目の評価を学生へフィードバックできる~~
- ③ **担当科目履修後の学生の自己学習への動機づけができる**

### ● 行動目標

- ① 学習を動機づけるための方法に関する文献検討に基づき、担当科目で自己学習促進のための工夫を1つ取り入れる
- ② 学習の動機づけに関わるテーマのFD研修に参加する  
(2015年度京都FDフォーラム)

# FDマザーマップについての 情報源

看護学教育研究共同利用拠点  
FDマザーマップ・支援データベース

<http://fd.np-portal.com/>

## ！ ご注意

個人で使用する場合に限り、ホームページから、  
FDマップをダウンロード・印刷できます。

# 自己評価・目標設定への活用の際して

- 本学FDにおいては、「教育」に焦点を絞って自己評価・目標設定に活用して下さい。
- 専門基礎領域の先生方は、「臨地実習指導」の細目は、演習等に置き換えて活用して下さい。
- FD研修後のアンケートにて、FDマザーマップ活用上の疑問点と括弧書きで氏名の記入があれば、個別で対応いたします。